



長崎市立橘小学校

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～

かがやけ ひびけ たちばなキッズ！

Tachibana TIMES

令和 7年 6月25 日発行

文責 校長 宮原 友彦

◆ 長崎っ子の心を見つめる教育週間について

今年は6月23日から6月29日までを「長崎っ子の心を見つめる教育週間」としています。

さて、毎年、この時期に、心を見つめる教育週間を行う理由についてみなさんは覚えていらっしゃるでしょうか。きっかけになったのは、この長崎県で起きた3つの痛ましい事件です。

平成15年7月1日、長崎市で中学1年生が幼稚園の子どもを殺してしまうという事件が起きました。

平成16年6月1日には、佐世保市で小学6年生の女の子が同級生の女の子を殺してしまうという事件が起きました。

平成24年7月に佐世保市で女子高校生が同級生を殺してしまうという悲しい事件が起きてしまいました。

このような不幸で悲しい事件が二度と起こってはならない、起こさせてはならないという強い思いを込めて、この時期、長崎県内すべての小中学校で、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」という期間を設けて、様々な取組を行うようにしています。橘小では、

- ・命の大切さについての校長講話(心の教育)
- ・特別の教科道徳の公開授業(心の教育)
- ・被爆体験講話(4～6年 平和学習)
- ・GIGA ワークブックながさき(情報モラル学習)
- ・自転車教室(3年 安全教育)
- ・八郎川防災(6年 防災教育)
- ・引き渡し訓練(全学年 防災教育)

などを行っています。この一週間は特に「今日、どんなことがあった？」と『命』『生きる』ということについて、家族で話をする機会をぜひもっていただきたいと思います。



熱中症予防にご協力ください

先日、熱中症アラートが発表されたように、今年もかなりの高温が予想されます。「**帽子をかぶる**」「**水分をこまめにとる**」が有効な予防となります。帽子、水筒の携行にご協力をお願いします。



◆ 引き渡し訓練について

今年度は、新たな試みとして、教育週間中に「引き渡し訓練」を実施いたします。

近年、地震や津波などの大規模な災害が発生していたり、不審者対応だったりなど、従来の集団下校等では対応できない場合が増えてきました。そのため、「引き渡し訓練」は、子どもたちを安全に保護者の方にお渡しする必要が生じた際に、混乱なく、確実に、そして迅速にお子様を引き渡すために行う大切な訓練だと言われています。

想像してみてください。もし大きな災害が起こり、学校に多くのお子様がいる中で、保護者の方々が一斉にお迎えに来られたらどうなるでしょうか。

大混乱が生じる可能性があります。誰が誰のお子さんなのか、確認に時間がかかり、非常時の貴重な時間をロスしてしまうかもしれません。

また、お子様の安全確認に遅れが生じる可能性があります。どのお子さんが引き渡されたのか、まだ学校にいるのかなど、正確な状況把握が難しくなります。交通渋滞など、二次的な問題が発生する可能性もあります。

このような事態を避けるために、学校では「安全確保」「確実な引き渡し」「迅速な対応」の3つを柱として、引き渡し訓練を実施します。

この訓練を通じて、以下の点を確認し、手順を確立したいと考えております。

- ①保護者の方の確認方法 ②引き渡し場所と動線
- ③緊急時の連絡体制

お子様の命を守ることは、私たち学校と保護者の皆様の共通の願いです。この引き渡し訓練は、万が一の際に、お子様を安全に、そして確実に皆様の元へお返しするための、非常に重要な訓練です。

お忙しいとは存じますが、お子様の安全のため、引き渡し訓練へのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

宮原のつぶやき

先日、Mission impossible を見に行ったのですが、主演のトム・クルーズがほぼ同級生ということに気付いて、びっくり！さらにスタントを使わず、ほぼ本人が行っていることに2度びっくり!!やはり日頃のトレーニング、「備えあれば憂いなし」なんですね(^-^;